

海外安全対策情報 2019 年第 2 四半期（4～6 月）

在デンマーク日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪情勢の概況

デンマーク国内の犯罪発生件数は近年減少傾向にありますが、日本と比較すれば犯罪発生率が非常に高い状況に変わりはありません。例えば、人口 10 万人あたりの犯罪発生件数（発生率）を比較すると、2017 年の統計では、デンマークは日本の約 9 倍です。

また、首都コペンハーゲンを中心にギャング団同士の抗争と見られる銃器による殺人事件や爆発事件が相次いで発生しています。

（2）邦人被害の発生状況

4 月から 6 月にかけて、当館で把握している限りで、スリや置き引き等により、17 件の旅券盗難（紛失）事案が発生しており、毎週 1 名以上の方が旅券をなくされている計算になります。

これらの被害の多くは、空港や駅、観光地で発生していますので、外出時には常に防犯意識を高く持ち、携行品から目を離さないように十分注意してください。

2 テロ・爆弾事件発生状況

4 月 14 日、コペンハーゲン市内ノアブロ（Norrebro）地区において、極右政党がデモを行った際、同政党に反対する市民の一部が暴徒化する騒擾事件が発生し、20 件を超える放火や器物損壊、警察官への暴行などで 20 人以上が逮捕されました。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害にあった事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は認知していません。

以上